

【児童への話】

6月の最終日 30日の朝礼です。明日からは7月です。7月は昔の言い方で、文の月と書いて、文月（ふづき ふみづき）と言います。今日は皆さんに、文を書くときに欠かせない「漢字」について、かしこくなるお話をします。

漢字の「漢」は、今の中国にあった昔の大きな国の名前で、そこで使われていた文字なので「漢字」といいます。その後、漢字は日本に伝わり、広く使われるようになりました。この「漢」という字、なぜか水を表すさんずいが付いていますね。そして、この字の右のまとまりには、「乾いている」という意味があり、まとめると「乾いた川」という意味になります。では、「乾いた川」って、何のことか分かりますか？ 15秒で考えてみてください。

正解は、この季節、夜の空に現れるキラキラ輝く大きな川、『天の川』です。壮大で美しい天の川は、大きな国の名前になるほど、今も昔も人の心を動かし続けているんです。来週の月曜日はちょうど七夕です。このお話はぜひお家の方にも教えてあげてくださいね。

このように、漢字にはひとつひとつ意味や成り立ちがあり、調べてみるととても面白いです。漢字以外にも、自分が不思議に思ったこと、知りたいと思ったことは、自分からどんどん進んで調べてみてください。そして、一日ひとつ、かしこくなって帰ってくださいね。

今日は、「漢の字の意味」についてお話ししました。

【本講話について】

早いもので、明日からもう7月です。1学期の登校日は、今日を入れて15日となりました。子ども自身が1学期の当初に設定した目標に立ち戻り、今後よりよく成長するための日々にしていきます。「一日ひとつ」の成長のために努力した子どもたちの姿を、そして、一日ひとつの成長を支え続けた教職員の姿を見ることができ、校長としてとても嬉しい1学期間でした。

7月は演劇鑑賞教室、TGGの英語体験、社会科見学など、子どもの体験的な学習活動が多く予定されています。また夏季休業期間には、個人面談があります。子どもの成長を促し、学校と保護者の皆様が足並みをそろえて進むための大事な期間となります。様々ご協力くださいますよう、お願いします。